

第6回 足立区パラスポーツ推進協議会 会議録

会 議 名	第6回足立区パラスポーツ推進協議会		
事 務 局	生涯学習支援室 スポーツ振興課		
開 催 年 月 日	令和7年6月12日（木）		
開 催 時 間	午前10時00分 ～ 午前11時05分		
開 催 場 所	足立区役所 8階 特別会議室		
区長の出席	有・ ☒ 無		
出 席 者	会長 盆子原 秀三 委員	副会長 藤後 悦子 委員	副会長 植松 隼人 委員
	飯ヶ谷 美恵 委員	鵜沢 勝 委員	加藤 仁志 委員
	鈴木 真理子 委員	桑原 芳枝 委員	小金井 寛 委員
	齋藤 安江 委員	佐藤 奈緒 委員	照井 智幸 委員
	戸部 明男 委員	中島 進 委員	中村 一昭 委員
	高橋 至和子 委員	羽住 敏久 委員	原 則子 委員
	永島 崇子 委員	茂木 聡直 委員	伊東 貴志 委員
欠 席 者	副会長 安岡 由恵 委員	鈴木 常義 委員	西方 雅良 委員
	森澤 美穂 委員	馬場 優子 委員	
会議次第	1 新任委員の委嘱 2 人事異動に伴う新たな事務局職員の紹介 3 アクションプラン最終案の確認 4 その他 5 次回日程について		
配付資料	・資料1 足立区パラスポーツ推進協議会委員名簿 ・資料2 足立区パラスポーツアクションプラン（案）		
そ の 他	傍聴人： ☒ 有・無 その他の参加者：有・ ☒ 無		

(審議経過)

＜原田スポーツ振興課長＞定刻でございますので、ただいまから第6回足立区パラスポーツ推進協議会を開催させていただきます。

本日は、お忙しいところご出席いただきまして、誠にありがとうございます。

私、4月よりスポーツ振興課長を務めさせていただいております原田と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

審議が始まるまでの間は私が司会進行を務めさせていただきますので、よろしくお願いいたします。着座にて失礼いたします。

本日は、委員26名のうち21名の委員にご出席いただいておりますので、定足数である過半数を満たしており、本協議会は成立しております。

本協議会は条例で公開を原則としており、会議記録はホームページ等で公開させていただきます。会議記録を正確に作成するために、皆様のご発言を録音させていただいております。

前回の第5回パラスポーツ推進協議会の議事録案につきましては、事前に郵送させていただいておりますけれども、内容の修正がございましたら、お手数ですが、6月30日までに事務局までお申し出ください。

ご発言の際は、恐れ入りますが、挙手をお願いいたします。お名前をお呼びいたしますので、お手元のマイクのスイッチを押して発言をお願いいたします。ご発言が終了しましたらスイッチをお切りください。マイクのスイッチ操作については、近くの係員がサポートさせていただきます。

なお、本日は傍聴の方が2名いらっしゃっております。

また、公開はいたしません、記録のために写真撮影をさせていただきますので、ご了承ください。

1 新任委員の委嘱

＜原田スポーツ振興課長＞それでは、まず初めに、委員の方並びに人事異動により変更のありました委員の方を紹介いたします。

資料1をご覧ください。委員名簿の順番にお名前をお呼びいたします。恐れ入りますが、その場でご起立をお願いいたします。

足立区肢体不自由児者父母の会会長、鈴木真理子様です。

＜鈴木委員＞皆様、よろしくお願いいたします。

＜原田スポーツ振興課長＞続きまして、足立区スポーツ協会常務理事、高橋至和子様です。

＜高橋委員＞高橋と申します。競技スポーツはなごなをしております。どうぞよろしくお願いいたします。

＜原田スポーツ振興課長＞続きまして、4月から

地域のちから推進部長を務めております茂木聡直です。

＜茂木委員＞茂木です。どうぞよろしくお願いいたします。

＜原田スポーツ振興課長＞4月から福祉部長を務めております伊東貴志です。

＜伊東委員＞伊東でございます。よろしくお願いいたします。

＜原田スポーツ振興課長＞次第の1は以上になります。

2 人事異動に伴う新たな事務局職員の紹介

＜原田スポーツ振興課長＞それでは、次第の2に移らせていただきます。

4月より事務局を担当するスポーツ振興課職員も変更となっております。

改めて、スポーツ振興課長の原田と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

続きまして、パラスポーツ推進担当係長の吉野でございます。

＜吉野パラスポーツ推進担当係長＞パラスポーツ担当の吉野と申します。よろしくお願いいたします。

＜原田スポーツ振興課長＞続きまして、次第の3、ここからは具体的な審議に移らせていただきたいと思います。

盆子原会長、進行をお願いいたします。

＜盆子原会長＞盆子原でございます。よろしくお願いいたします。

東京も梅雨に入りまして、今日はどうかと思っておりましたが、晴れて本当に安堵しております。お集まりいただきまして、本当にありがとうございます。

今回が第6回目の会議となります。パラスポーツミーティング第5回会議を経て、現在、何が課題であるのかが大分絞り込まれてきたと感じております。また、互いの立場は違えども、何を実現しようとしているのかは同じであります。それについては共通認識が深まってきたと感じております。

今回の会議は、これまでの会議で協議されましたアクションプランの最終確認作業となります。このアクションプランというのは、目標達成のために、具体的に誰がいつまでに何をすべきかを明確にする行動計画です。それをある程度は想定しながら確認作業ができたかなと思っております。今まで以上に皆様方より一層のご意見を賜いますように、よろしくお願いいたします。

3 アクションプラン最終案の確認

＜盆子原会長＞それでは、本日の審議に入ります。

次第の3番「アクションプラン最終案の確認」について、事務局より説明をお願いいたします。
＜原田スポーツ振興課長＞それでは、私からご説明いたします。

事前にお送りしました資料2の「足立区パラスポーツアクションプラン案」をご覧ください。

これまでの、委員の皆様には部分的な内容についてご議論いただきましたが、アクションプラン全体を通して、矛盾が生じていないか、不足している点がないかなどの確認を事務局で行い、内容修正を行いました。

軽微な文言修正や記載方法の変更についてはご説明を割愛させていただきまして、大きな変更点を中心にご説明させていただきます。

まずは3ページをお開き願います。

前回までは、計画期間を令和7年度から8年度の2年間とさせていただいていたのですが、令和9年度までの3年間に計画期間を変更いたしました。

変更の理由といたしましては、上位計画でございます運動・スポーツ推進計画の改定の後に内容を確認した上で、本アクションプランの見直しをしたほうが良いという判断をさせていただきまして、計画期間を2年から3年に変更いたしました。

続きまして、同じく3ページ目の「5 計画の見直し」と「6 進捗管理」でございます。前回までは、「進捗管理と見直し」という項目で合わせて記載しておりましたが、より分かりやすくするため記載を分けました。内容につきましては、大きく変更はございません。

続きまして、7ページ目をお開きください。

これまでと現在の取組を記載しております。前回までは片面のページに令和4年度までと令和5年度の取組をまとめて記載しておりましたが、見開き1ページに変更いたしました。記載内容については変更ございません。

続きまして、12ページをご覧ください。

1点目ですが、上から2段目の左から2列目の記載でございます。施策の柱Ⅱの施策1ですが、前回までは「施設整備」の「施設」の後に（ハード面）という記載をしておりましたが、削除いたしました。同様に、2の「サークル活動」の後に（ソフト面）と記載していましたが、こちらも削除いたしました。

理由といたしましては、ハードとソフトという記載がなくても内容が分かるため、削除させていただきました。

さらに、右の枠の主な事業の2の「サークル活動」の記載箇所に（ソフト面）と同様の記載がございますけれども、こちらも削除いたしますが、現在、削除漏れとなっております。申し訳ございません。

2点目です。表の説明を注釈として一番下に追記いたしました。また、前回の資料では、欄外に「障がい者理解の促進」に関する用語説明を注釈として記載しておりましたが、表の説明とは関係しない部分となっておりますので、削除いたしました。

続きまして、14ページをご覧ください。

こちらにも（ハード面）と（ソフト面）の記載がありますので、こちらも削除漏れとなります。申し訳ございません。こちらも削除いたします。

続きまして、18ページをご覧ください。

右上の欄外に、「令和9年度の最終目標値は上位計画である運動・スポーツ計画の改定時（令和8年度）に設置する」と記載を追加いたしました。前回までは本アクションプランの改定を8年度までとしておりましたが、9年度の改定と変更したために追記いたしました。上位計画である運動・スポーツ計画が8年度に改定されてから、本アクションプランの9年度の目標を設定したいと思っております。

同じページの2段目にパラスポーツミーティングの指標が記載されておりますけれども、前回までは活動指標を参加者数としておりましたが、開催回数も指標として追加いたしました。

3段目でございます。各活動主体間の情報共有手段の構築と運用についてですが、活動指標をホームページの更新回数としておりましたが、ホームページの閲覧件数も活動指標として追加いたしました。

また、各事業の目標値についてですが、前回まで未記載の箇所が幾つかございましたので、令和6年度事業の数値を確定したというところで、記載や追加、修正しております。

続きまして、26ページをご覧ください。

一番上の段のあだちスポーツコンシェルジュの活動指標でございます。こちらは前回までは上位計画で定めた内容を記載させていただいておりましたが、現在の状況と乖離が大きいため、活動指標を「相談件数」と「相談後、活動につなげた割合」に変更いたしました。

続きまして、28ページをご覧ください。

2段目の支援人材への協力依頼ですけれども、前回までは活動指標を「協力件数」としておりましたが、「協力者数」を追加いたしました。

続きまして、29ページ目をご覧ください。

欄外に総合型地域クラブのオリ・パラレガシー事業について内容説明の注釈を追記いたしました。

続きまして、33ページをご覧ください。

資料編につきましては、前回までの資料では一部未記載であったのですが、こちらのページで関係する法令ですとか国の動向をまとめております。

続きまして、36 ページでございます。

区のスポーツ施設の一覧を記載しております。

37 ページですが、アクションプランのこれまでの審議内容を記載しております。

38 ページですけれども、本推進協議会の条例を記載しております。

最後になります。40 ページには委員名簿を記載しております。

以上でございます。

<盆子原会長>ご説明ありがとうございます。

計画期間においては、令和7年度から9年度までの3年間に変更したということ。各事業での詳細な設定が幾つか文面として出されましたが、今の説明についてご意見やご質問などはございますでしょうか。質問がある方は挙手をお願いいたします。

佐藤委員。

<佐藤委員>親の会の佐藤です。

24 ページですけれども、障がい者向けプログラムの年間実施回数というのが、6年度の現状は77回で、令和7年度目標50回、令和8年度が150回という目標の数字が下がったり上がったりしているのはどうしてなのかなということと、すみません、ちょっと細かい話なのですが、区でやっていただいているボッチャひろばの開催なんかは3番とかに入らんですかね、障がいのある方の運動・スポーツ教室みたいなところに。ボッチャひろばを年間やっていただいているのですけれども、その日程が教育委員会でやっていただいている日曜教室と丸かぶりで、日曜教室に参加している人が、ボッチャひろばへ行きたくても参加できないんですというような声がちょっとあったので、ほかの部署でやっていることと日程を確認し合っていただければいいのかなと思います。

もう1点、障がい者運動教室の事業所向けというものもやっていただいているのですけれども、こちらも時間とかが決まっているので、事業所って通所施設だと思うのですけれども、通所の時間によっては参加できない時間だなとちょっと思ったので、そのあたりをいろいろな人が参加できるような日時の設定があるといいのかなと思います。

<原田スポーツ振興課長>スポーツ振興課長の原田です。

先に最後のご質問、ご意見のところにつきまして、申し訳ございません、日程が重なってしましまして、本来であれば参加いただける方も参加できない状況になってしまっていることをおわび申し上げます。改めて次回やるときには、日程の調整しっかりさせていただきまして、いろいろな方が参加できる事業にしていきたいと思いますので、よろしくお願いします。

そちら以外につきましては担当からご説明させていただきます。

<岩田パラスポーツ推進担当係長>パラスポーツ推進担当、岩田と申します。よろしくお願い致します。ご質問について私からお答えいたします。

1つ目のご質問で、障がい者向けプログラムの数値が、6年度は77、7年度は50、令和8年度は150となっているのかどうかというご質問ですけれども、前回の資料がお手元にないのでご確認が難しいとは思のですが、前回は6年度の数値が未記載で、7年度が50回、8年度が150回、このように設定をさせていただいておりました。

ですけれども、令和6年度は、統計を取ったところ、指定管理の方々に非常に頑張ってもらっていて、実際は77回やっていたということが分かりました。ですので、令和7年度は50回と設定をしてはおりますが、もうちょっと頑張れるということであれば、目標設定の変更を検討したいと思います。

2つ目、3つ目の質問ですけれども、スポーツ振興課長からも話がありましたが、今年度につきましては、体育館の空き状況ですとか委託業者さんとの打合せが済んでいるものですから、変更がちょっと難しい状況ではありますけれども、来年度また検討する際には、ほかの催し物とかぶらないように調整をさせていただきますので、よろしくお願い致します。

以上です。

<盆子原会長>ありがとうございます。目標達成という数字としては、これは達成されているわけですが、次の年は少し上げていくということの考えでよろしいでしょうか。分かりました。

そのほかございますでしょうか。

<藤後副会長>藤後です。よろしくお願い致します。

数字に関してですけれども、目標値を上げていくということもそうなのですが、例えば24ページの活動指標の3番、令和7年度が66回の実施回数を目標としていて、令和8年度も同じような66回という数値。また26ページのあだちスポーツコンシェルジュの現状値が75%で、令和7年度も75%となってしまうと、区民評価で確実に指摘されると思うのです。ですので、先ほどお話しいただいたように、もう一つ上の数値をぜひ目指していただければと思います。

もう1点、教えていただきたいのですが、この報告書自体は、例えば視覚障がいの方々というのは読めるような配慮ということはあるのでしょうか。教えていただければと思います。

<岩田パラスポーツ推進担当係長>引き続き、担当の岩田から回答させていただきます。

数値目標で7年度と8年度が同じ数値になっているものにつきましては、これは事務局のほうでも大変悩んでいるところではあるのですけれども、当然目標まででいいだろうとは思ってはいなくて、それを超えることを目標にはしておりますけれども、費用がかかるものですか、そういったものもひっくるめて無責任にただ上げていくという目標を掲げられないのが実情で、当然これを超えるような実績を積んでいきたいとは考えております。

2つ目ですけれども、今この委員の中にも目の不自由な方がいらっしゃるって、その委員にはWord データでテキストに全て置き換えて、表だとかちょっと見づらいということがございますので、全てテキスト、横書きのものに全部置き換えて資料をお渡ししている状況です。

これを皆様にお配りする段になったときには、またご意見を伺いながら、どのように提示したらいいか検討してまいります。

<盆子原会長>ありがとうございます。

よろしいでしょうか。

それでは、学識委員の植松委員、ご意見がもしあたりましたら頂きたいのですが。

<植松副会長>植松です。

特に僕からは、皆さんの意見を聞いてお話ししたいなと思っているので、今のところ気になるところはありません。聞こえない当事者としては。以上です。

<盆子原会長>それでは、ただいまありましたご意見を踏まえて、修正案については私にご一任いただき、本アクションプランを協議会として区長に答申したいと思っております。よろしく願いいたします。

4 その他

<盆子原会長>続きまして、次第4の「その他」、プール用おむつ着用によるプール利用について、事務局より説明をお願いいたします。

<原田スポーツ振興課長>スポーツ振興課長の原田でございます。

それではご説明させていただきます。

前々回の審議で、おむつが取れないお子様がプールに全くは入れなくて、多少おむつが取れていないことも入れるようなプールがあるといいのではないかというご意見を頂戴いたしました。

前回の協議会で、区としては東京都障害者総合スポーツセンターの利用条件をご確認の上、同センターを利用させていただきたいとご説明をさせていただいたところでありますけれども、便が漏れないタイプのおむつを着用してプールを利用することができるのではないかという新しい視点をその際頂戴いたしましたので、もう一度調査

するというご発言があったかと思えます。

こちらにつきましては、申し訳ございません、まだ事務局で調査をしている最中でございます。特別支援学校の先生ですとか、各方々のご意見を伺いながら、どのようなことがいいのかというところを調査している最中でございますので、正直申し上げてまだ結論に至っておりません。次回の審議会で結果をご報告できればと思っておりますけれども、申し訳ございませんが、今回の協議会につきましては、まだお答えできないというところでございます。

以上でございます。

<盆子原会長>ご説明ありがとうございます。

佐藤委員から第4回の会議からの継続審議となっております。次回にまた引き続きということになっておりますけれども、ただいまの説明についてご意見やご質問などがございましたら挙手をお願いいたします。

<永島委員>花畑学園の永島です。

この件についてご依頼を頂いて、本校でも今週から水泳指導が始まっておりますので、現状について学校の中と、水泳指導が始まる前に障がい者の水泳指導をNP0で行っている方の研修を受ける機会が毎年ありますので、その際に状況をお伺いすることができました。

現状から申し上げます、学校では、区からお話のあったビニール素材のおむつを使っている方は今いらっしゃらないです。学校の対応としては、ぎりぎりまでおむつをつけていますけれども、プールに入る際は、さっと外して活動しています。それで全く問題がないかといえば、年に数回ですが、便が漏れるということは当然ありますし、体調が悪くなって嘔吐するということも当然あります。恐らく一般のプールでも、そういった方はいらっしゃることはあるんじゃないかなと想像しますので、速やかに利用者の方を上げていただいて対応して、薬液を入れてという対応を学校としては数値に基づいて基準値に達したところで再開するという形を取っているのが現状でございます。以上です。

<盆子原会長>ありがとうございます。

佐藤委員、いかがでしょうか。

<佐藤委員>私のほうでも、そういったビニールタイプの漏れないような水着を着用している方はいないですかねということで周りの人には聞いたのですが、そういう水着を使っている人はいらっしゃらなかったのですが、ただ、便が漏れないようにということで、紙おむつというか、幼児が使っているような水遊び用おむつを学校時代もそういえば使っていたなと思ひまして、弁漏れを防ぐものと水着という感じで、二重にして学校では入れていただいていたなと思ひまして、区民プールとなると、便だけでなく尿漏

れなんかも周りの方は気にされるので、排せつのコントロールできない方は一律駄目ということにはなってしまうのが現状なのかなとは思うのですけれども。逆に赤ちゃんなんかも入れないのかなと思うのですけれども、おむつが取れていない乳幼児も区民プールは現在入れないんですよね。

それでちょっと思ったのですけれども、一般のプールとかスイミングセンターみたいなところは赤ちゃんプール教室なんかもあるので、そういうところは多少の漏れはオーケーなのかなと思ったのですけれども。また温水プールというものと普通の水だけというもので、何かあったときの後の対処の仕方の変えが全然違うんだろうなと思います。

あとは、それこそ障がい者通所施設のほうで、区外の通所施設だと自前のプールがあったりするので、そういうものがあれば大人になっても入れるなと思っていました。何かすみません。取り留めなくなってしまうて。

<盆子原会長>現状をいただきまして、ありがとうございます。

先ほど永島委員からも、ある程度の基準を達していることがまず必要だということではありますけれども、何かしらいろいろな状況の中で、それが対応できるような場面ができればなというふうに思っておりますが、これはまた引き続き審議ということにさせていただきたいと思います。よろしく願いいたします。

このことに関して、ほかにご意見がありますでしょうか。

なければ、次のスペシャルライフコートフェスティバルの実施報告について、事務局よりご説明をお願いいたします。

<原田スポーツ振興課長>こちらは資料がないのですけれども、申し訳ございません、口頭でご説明させていただきます。

スペシャルライフコートフェスティバルは、障がいのある方や子どもたちを中心として、誰もが気軽に運動・スポーツ・レクリエーションを楽しめるイベントとして、毎年4月29日の祝日に開催しております。今年で4回目の開催となりましたけれども、前日に雨が降りまして、総合スポーツセンターのグラウンドの状況があまりよくなかったのですけれども、何とかぬかるみを避けてサッカー体験も行うことができました。

例年、北澤豪さんにトークショーを実施していただいておりますけれども、今回は車椅子ラグビーの池崎さんをお招きして、北澤さんと対談形式のトークショーを行いました。そのほかにも多くのパラアスリートの方にご参加いただきましてパラスポーツ体験を実施いたしました。

特に今年はデフリンピックが開催されますの

で、足立区ゆかりの選手にお越しいただきまして、ステージでのトークショーですとか体験会を行っていただきました。また、東京都さんにPRブースを出展いただいたりですとか、足立区のデフリンピック応援隊として、ビュー坊という足立区のキャラクターがいるのですけれども、ビュー坊を使ってデフリンピックのPRを実施いたしました。

また、今年の新たな取組といたしまして、キッチンカーをお呼びしたりですとか、福祉作業所の方々に物販をしていただいたりですとか、そういったことをして、さらに盛り上げをさせていただきました。会場の総合スポーツセンター周辺に昼食を取る場所が少ないというところで、試験的に実施させていただいたのですけれども、こちらもお好評で、多くの方にお楽しみいただけたのではないかなと思っております。

ほかにも、体験メニューにつきましても、昨年度とは異なるメニューを取り入れるですとか、少し工夫をさせていただきまして実施いたしました。

来場者数につきましては、正確ではないのですけれども、感覚的には昨年より少し減ってしまったのかなと感じました。ただ、こちらのイベントですけれども、障がい者の方をメインターゲットとしておりますので、来場された方はゆっくりとお楽しみいただけたのではないかなと思います。

アンケート結果は私も見させていただいたけれども、障がい者の方を含む多くの方から、「楽しかった」「また来たい」というお声を頂きました。

簡単ですが、以上でございます。

<盆子原会長>ご説明ありがとうございます。

毎年、慣例といいますか、恒例のイベントでございますが、私はいつも行きたいなと思っていたのですが、授業等でありまして学生も行けないような状況で、少し日程が変わればなと思っております。

それでは、本審議会の委員の中から運営側として参加されている方がいらっしゃいますので、感想などを伺えればなと思っております。

鶴沢委員、よろしいでしょうか。

<鶴沢委員>ADISC代表の鶴沢です。すみません、油断しておりました。

私、ふだんは就労支援施設ウィズユーというところで施設長をしています。当日はうちの作っているパンを販売させていただきました。中島委員のところのドライフルーツも一緒に出展しました。

当日は雨が心配されたのですけれども、逆に天気がよくてしまって、テントは用意してもらったのですが、意外と日差しが強くて、食事する座席はあったのですけれども、日をよける場所が

ないというところで、来場者の方たちが日傘を差してご飯を食べているところがちょっとつらかったのかなんていうのは感じますので、次年度以降、お天気になった際の日陰の確保というのも考慮していただけないのかなと思いました。

私も4年ずっと参加させてもらっているのですが、グラウンドの使用をもう少し活発にできればいいのかなと思いました。先ほどご説明にもありましたパラスポーツをメインにしているということもあったのですが、パラスポーツメインじゃない人たちも来てくれて、パラスポーツに触れるというふうにしても来場者を増やすためにはいいのかなと思いました。そのためにももっとグラウンドに、近隣のアスリートたちの試合を組むとか、パラスポーツにふだん接していない人たちを呼び込むプランがあると、もっともって来場者も増えるのかなと思いました。ですが、とても楽しいイベントですので、また次回も参加させていただければと思いますので、よろしくお願いします。ありがとうございます。

<盆子原会長>ありがとうございます。

日陰がないというのは、前の会議でもありましたね。また継続して少し改良していただければと思っています。

また、パラスポーツ以外というところでのいろいろな方がそこで集まる機会があったらと思っています。そうすると障がいに対する理解が深まっていくということになると思います。ありがとうございます。

中島委員、よろしいですか。

<中島委員>西伊興ひまわり園で施設長をしております中島と申します。

今回初めてイベントに参加させていただいて、うちの法人では谷在家福祉作業所も出展させていただきました。ただ、今回、ご利用者は参加しておりませんでしたので、次回はぜひご利用者と一緒に販売をさせていただければと思っています。

本当にお天気がすごくよくて暑いぐらいで、熱中症対策をしないと、うちの利用者さんだとかかなり体に負担がきちゃうかなと思うぐらい、いい天気ではあったので、販売もおかげさまでたくさん売ることができました。

暑さだけじゃないのですけれども、うちの法人のご利用者さん、ご家族、ほかの施設の方もたくさん来ていましたので、いろいろなコミュニケーションもそこで取れたりとか、いろいろなお声かけを頂いたりとかしました。ただ、中を見る機会がちょっと取れなかったもので、次回はこういったイベントだとか、関わりをいろいろな方とつけられればなと思いました。以上です。

<盆子原会長>ありがとうございます。

利用者は多くの方がいらっしゃって、700人と

お話をなさっていたのですけれども、どのぐらい今回いらっしゃったのでしょうか。

<中島委員>うちの法人全体で700名ぐらいが通所されているのですけれども、西伊興ひまわり園は、実際は40名程度が通所されています。いろいろなイベントにも参加させていただいているので、そのときそのときで利用者の人数は違うのですけれども、実際に自分で作ったものを販売したいという方は多くいらっしゃいますので、そういった機会をこれからもつくっていききたいなと思っていますので、今後ともよろしくお願い申し上げますということです。

<盆子原会長>ありがとうございます。

次に中村委員、よろしいでしょうか。

<中村委員>皆さん、おはようございます。よろしく願いいたします。

私も4年間、このスペシャルライフコートフェスティバルに運営側として足立区の皆さんと活動させていただいていて、我々東京ヴェルディとしていつも思っていることは、お互いが認め合う場になったらいいなと思って一緒に活動させていただいています。

その中で、今年、活動としてすごくよかったなという点で言うと、学生ボランティアの皆さんが数多く入っていただいて活動を行いました。昨年までは、なかなかボランティアの方々が入ってなかったのですけれども、今年から入っていて、パラアスリートの皆さんと学生との関わり、あとはこの活動にお客さんとして来た障がいのある方々との関わりだったとか、そういうところもところどころで見えて、非常にコミュニケーションが取れていてよかったなというふうには感じました。

私も日差しのところをすごく気になっていて、熱中症対策というところでも、かなり今後しっかりとやっていかないといけないところになっていくのかなと思うので、例えば体育館の中をもう少しうまく使っていくとか、例えばライフコート体育館、うまく時間を設定していくとか、あとはこの活動自体の時間帯をどうしていくとか、そういったところも皆さんと話しながら決めていけたらいいなと思っています。

スペシャルライフコートフェスティバルというところでは、今までは運動だけだった。そこから販売のほうにも少しずつ活動がなっていくって、最終的には障がいのある人たちが活躍する場になっていったらいいなと私たちは思っています。例えば販売だったり、発表する場だったり、ADISCさんとどこかの試合があるとか、そういった障がいのある人たちのいろいろなスポーツ団体があるかなと思うので、皆さんの発表の場になっていって、今日は中島先生や皆さんもいらっしゃっていますけれども、近くには花畑学園

加するのではなく、例えばバレーボールのルールですとか、陸上、サッカー、それぞれに手話表現があるのですね。ルールの手話表現もあります。それについても分かってもらいたい、より広めていきたいと思いました。

また、今年の4月29日、イベントには参加できませんでしたでしたが、植松さんから、手話教室や今後11月にデフリンピックがあります。海外からたくさんのアスリートが来ます。なので、日本手話だけではなく国際手話など、あと誰とでも通じ合えるような、ゼスチャーも含めて、そういう表現も広めていきたいと思います。「おなががすいた」とか、挨拶とか、そういうものですね。目を見て視覚的に理解できるようなもの。今までなかなかそれができていなかったと思うので、今後イベントの中で手話教室など立ち上げていければなというふうに私としても思っています。ありがとうございます。

<盆子原会長>ありがとうございます。

前回の第5回会議の中で、植松委員から、支援人材の育成というところで、初級パラスポーツ指導員養成講習会に、もう一つ手話の体験型講習会を設けたほうがいいんじゃないかというご意見もありました。これも継続して審議していけたらなと思っています。手話によっていろいろなことを表現できるような場があれば、またそれによつての支援体制が深まっていくんじゃないかなとは思っています。よろしく願いいたします。

以上ではございますが、何かそのほかご意見がございましたら。

なければ、事務局からお願いいたします。

<原田スポーツ振興課長>続きまして、事務局より情報提供させていただきます。

先ほど加藤委員からもお話がありましたように、今年度はデフリンピックがございます。そちらの取組につきましてご報告でございます。

まず、直近6月7日、8日に足立区で実施されましたしょうぶまつりに、デフリンピックのPR展示ブースを出展させていただきました。こちらは東京都からデフリンピックに関する映像を提供いただいて、テレビで放映したりですとか、デフリンピックに関する簡単なクイズを作りまして、回答された方にデフリンピックのオリジナルグッズですとか、足立区のキャラクターのオリジナルグッズをお渡しするなどの啓発を行いました。クイズの内容としては、「柔道・空手の開催場所はどこでしょうか」「東京武道館」みたいな簡単なクイズと、クイズに答えていただきながら周知するという内容にしておりました。

また、ブースに立ち寄っていただいた方々に、選手への応援メッセージをホワイトボードに書いていただいて、写真撮影というのもやらせていただきました。こちらは100名ぐらいの方にご協

力いただいておりますので、こちらもどこかのタイミングでデフリンピックのPRなどで紹介していきたいと思っております。

また、今後の予定についてですけれども、こちらはまだ案といいますか、検討段階のところではございますけれども、そちらを含めてご紹介させていただきます。

まず1点目、足立区ゆかりのデフアスリートの3名の方にインタビューを行いました。こちらのインタビューの一部は、7月の「教育だより」に掲載する予定です。また、インタビューの全文を足立区ホームページに掲載する予定でございます。

また、少し先にはなるのですけれども、8月2日(土曜日)に、足立区役所の庁舎ホールとアトリウムで、デフアスリートの講演会とワークショップ等を企画しております。こちら詳細が決まりましたらお知らせいたしますので、ご協力お願いいたします。

先ほど加藤委員からもお話がありましたけれども、デフリンピックを通じて手話を理解していただきまして、こちらをきっかけとしてどんどん手話についての理解が広がっていければなど区としても考えておりますので、皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

以上でございます。

<盆子原会長>ご説明ありがとうございます。

それでは、ただいまの説明についてご意見やご質問などがございますでしょうか。ある方は挙手をお願いいたします。

<植松副会長>植松です。

せっかく今デフリンピックの話を出してくれたので、ちょっと触れたいんですけども、原田さん、1つ手話を出してもらっていいですか。知っている手話は何ですか。(手話で「ありがとう」)皆さん、これは何の手話だか分かりますか。目の見えない方には申し訳ないのですけれども、今やったのを動かしてもらっていいですか。これはどういう意味ですか。「ありがとう」ですよ。この「ありがとう」だけでも、僕はみんなが使ってくれたらすごくうれしいし、ぜひとも1つ言葉を増やしてくれたらいいなと思っています。皆さん使わないと、デフリンピックなんて行かないからね。

そもそもデフリンピックは11月何日に開催されると思いますか。知らないと思う。中村さん、11月のいつからいつまでですか。

<中村委員>11月中旬に開催されます。

<植松副会長>もう、あかんやん……。11月15日～26日。足立区は東京武道館。東京武道館で合っていますよね、言葉は。東京武道館で空手と柔道。ここにいる委員の皆さん、絶対行ってください。なぜなら、聞こえない人と聞こえる人と一緒になって運営する方法が全部そこにあるからで

す。聞くんじゃなくて、見るかですよ。どうやって見て、危険性をちゃんと守るか。どうやって運営が成り立つのか。柔道と空手はどうやってうまく競技が成り立つのか。審判員と選手同士の関わり方は、どうやって接したらいいのか。普通は接しちゃいけないんですよ。「止まれ」「やめ」と言うときもデフリンピックなりの接し方がある。これってデフリンピックだけじゃなくて、デフリンピックの後にも、足立区のまちづくりにも絶対生かされるはずなんです。それは聞こえない人、聞こえづらい人に対する、まちの中で必要な整備がヒントとして隠されているからなんです。デフリンピックはスポーツじゃなくて、スポーツからこのまちの中に落とし込んでもらうといいのかなという視点を持ってほしいなと思っています。というのがデフリンピックの後の共生社会の考え方になるかなと思っていますので、足立区の職員の皆さん全員、東京武道館集合。僕は絶対行きますからね。岩田さんがいなかったら、ちょっと反省会だよ。いいですか。

以上です。

<盆子原会長>ありがとうございます。

<加藤委員>足立区ろう者協会の加藤です。

植松さんがおっしゃったとおり、いつもスポーツに関する音声の合図については、耳の聞こえない人たちは別の方法を使っています。パトライトという明かりを使ったりとか、そういうものを活用しているのですね。デフリンピックが終わった後に、これはどう活用するのか。災害など起きたときに、すぐに知らせるためのもの。音声だけで知らされても分からないのですね。看板で「危ない逃げろ」とか、目で見て分かる方法にしてほしい。音声の放送だけでは、聞こえない人たちは何も分かりません。先ほどの共生社会を目指す、誰でも分かる方法、安心して生活できる方法というのを求めています。ぜひ皆さん、デフリンピック、東京武道館にお越しいただければと思っていますので、よろしくお願いします。

<盆子原会長>ありがとうございます。

一人一人が感じるということ、感じなければ共生社会は実現しないのだということですね。非常に深い話でございますが、ぜひ私も参加したいと思っています。ありがとうございます。

<齋藤委員>つばさの会の齋藤と申します。

今トランポリンをやっております。スペシャルクライフコートフェスティバルにはトランポリンは参加していませんが、トランポリンは健常の方から重度の障がいの方まで、みんな取り組めるスポーツとして私は自負しています。ですので、ぜひこのスペシャルクライフコートフェスティバルにトランポリンも参加させていただけたらいいなと思っています。以上です。

<盆子原会長>ありがとうございます。

つばさの会は3月の末にトランポリンの大会がございまして、ネットでもいろいろ好評だったようです。ありがとうございます。

そのほかございますでしょうか。

<中島委員>すみません。1点思い出しまして、スペシャルクライフコートフェスティバルで。

うちの法人のご利用者さんも顔を出していたのですが、ほとんどの方がご家族と来ていました。障がいが重くて自分一人ではもちろん来られませんので、そういう様子を見てみると、以前に佐藤委員もお話があったと思いますが、移動支援の月16時間の幅の部分ですとか、そういったところで行動援護というところもあるとは思いますが、やはりそこに割ける時間が限られていると改めて実感いたしました。なので、その制限が少しでも広がれば、そういったイベントとかにも移動支援のヘルパーさんを使って参加できるのだろうなというのを感じましたので、もし可能であれば、そういったところもご検討いただければと思っています。なので、場所があっても行けないということが現実的にはあるんだろうなと思っています。以上です。

<盆子原会長>ありがとうございます。

これは前回の会議でもございましたね。それについては何か事務側のほうでありますか。

<伊東委員>福祉部長でございます。

前回、移動支援のところの時間数の絡みで、そのときはスポーツの話で、スポーツそのものに使えるのかというご質問だったと思うのですが、その点からお話すると、スポーツそのものに移動支援のガイドヘルパーさんに一緒に来てもらって、スポーツと一緒にやるということのはちょっと難しいのが現状です。やはり専門性も必要になってきますので。

今お話にあった時間制限、16時間というところ。また、これは自治体によってまちまちの部分がございまして、足立区より多いところもあるというのも現状です。これを増やしてほしいというご要望を頂いているのも、過去からそれはあります。私たちも、ガイドヘルパーさんをご利用される方々の行動というところを少しでも増やしていきたいという思いはあります。ですので、一朝一夕にはいかないのですが、時間数については考えていきたいと思っています。一方、そもそものガイドヘルパーさんの育成というところとリンクしてくるので、担い手になっていただける方がそれほど多くないというところなので、ヘルパーさんを増やす前に時間数を増やしても、多分需要を満たせないということにもなってしまいますので、私たちとしても、時間数を増やすということも念頭に置きながら、まず担い手であるガイドヘルパーさんたちの育成支援というところに取り組んでいきたいと思

っています。これも従前からずっと福祉部の中で言っていて、遅々として進んでいないのも事実なのですけれども、障がい者計画の中にも育成ということはどうたっているのか、私たちとしても引き続き、どのような方策で増やしていけるかというところに取り組んでいきたいと思っています。以上です。

<盆子原会長>ありがとうございます。

育成ということと同時に、そういったケースにおいてどういうふう to それを考えていくかということだと思いますが、継続してご審議のほど、よろしく願いいたします。

<伊東委員>承知しました。

<盆子原会長>どうぞ、佐藤委員。

<佐藤委員>佐藤です。

今ちょっと関係する話が出てきたので、先ほどのアクションプラン案のところで気になっていたのですけれども、25 ページ、26 ページの「障がいのある方への移動サポート制度の検討」は「取組内容検討中」としか書かれていないのですけれども、これでアクションプラン完成ということなのでしょう。

<盆子原会長>お願いします。

<岩田パラスポーツ推進担当係長>こちらについては、一旦はこの記載のままで完成というふうに考えております。

<原田スポーツ振興課長>スポーツ振興課長です。

今検討させていただいている中で、できていない状況でございますけれども、見直しの機会のとときに改めて検討させていただきまして、盛り込めればなと思っておりますので、よろしく願いいたします。

<盆子原会長>以前の会議で、学生のボランティアとかという話もありましたけれども、何といいますか、学生としての時間的な忙しさというのはございまして、スペシャルライフコート、こういったところでのボランティアを通して、だんだんそういった理解が深まってくれば、この問題も少し変わっていくんじゃないかなとは思っております。引き続き、これについては検討事項とさせていただきたいと思ひます。よろしいでしょうか。

<藤後副会長>私も大学教員としてお伝えできればと思ったのですけれども、ガイドヘルパーの養成を多分、情報も含めて学生に伝えておくのはいいのではないかと考えたのです。これは前、原さんから教えていただいたのですけれども、共生社会であつたり、障がいというところに興味を持っている学生はいっぱいいるんです。ただ、先ほど先生がおっしゃってくれましたけれども、時間がなかなか取れないとか、バイトも授業もというような形で取れないというのが現実です。ですが、

資格が取れるとか、具体的に彼らにとつても今後につながるようなものを提示してあげることによって、もしかしたら興味を持って受講する。そしてその後のアクションにつながっていくということもあり得ると思ひましたので、大学とのガイドヘルパー養成の情報に関する連携というところも、もしかしたら1点、今後検討しても面白いかなと思ひました。以上です。

<盆子原会長>ありがとうございます。

そのほかございますでしょうか。

いろいろとご意見を頂きましてありがとうございます。

本日の協議事項は以上となります。

事務局に司会を戻したいと思ひます。よろしく願いいたします。

5 次回日程について

<原田スポーツ振興課長>盆子原会長、ありがとうございます。

皆様、長時間のご審議、どうもありがとうございます。

続きまして、次回の日程のご報告でございます。次回は9月1日（月曜日）午前10時より、本日より、こちらの会議室で行いたいと思ひます。1か月ほど前には開催の通知をお送りさせていただきまして、2週間ほど前には会議資料をお送りしたいと思ひております。お忙しいところ大変恐縮ですけれども、次回もぜひご参加をよろしく願いいたします。

最後に事務連絡が2点ございます。

1点目でございます。会議の冒頭でご説明いたしましたけれども、事前に第5回の議事録をお送りしております。ご自身のご発言のところを中心にお読みいただきまして、内容の修正等がございまして事務局までお申し出ください。

2点目でございます。お車でお越しの方は無料の駐車券をお渡ししておりますので、出口におります係員にお声がけください。

それでは、以上もちまして本日の推進協議会を終了いたします。どうもありがとうございました。お忘れ物にお気をつけくださいませ。

<盆子原会長>ありがとうございます。